

差 押 調 書

年 月 日

(所 属)
司法

印

共助犯罪被疑者
共助犯罪名

は、
年 月 日付け
の発した差押許可状を
押えをした。

の要請に係る共助事件につき、本職
地方裁判所 裁判官
に示して、下記のとおり差

記

- 1 差押えの日時
年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで
- 2 差押えの場所
- 3 差押えの目的たる物
- 4 差押えの立会人(住居、職業、氏名、年齢)
- 5 差押えをした物
別紙押収品等目録記載のとおり
- 6 差押えの経過 (国際捜査共助等に関する法律第13条において準用する刑事訴訟法第218条第2項の規定による差押えをした場合又は国際捜査共助等に関する法律第13条において準用する刑事訴訟法第222条第1項において準用する同法第110条の2の規定による処分をした場合には、その旨及び経過)

- 注意 1 共助の要請に関し、差押えにより物件を差し押さえた場合には、本調書を作成し、押収品等目録を添付すること。
- 2 物件の所在発見場所、発見者、発見の経緯等は、できるだけ具体的に差押えの経過欄に記載すること。
- 3 やむを得ない理由により令状を示すことができなかつたときは、その理由を付記すること。

(用紙 日本産業規格A4)